

あきしま市

自治連会報

自治連が裾野を支える昭島市

■発行者
小野正敏

■編集
昭島市自治会連合会
広報委員会

昭島市田中町1-17-1
昭島市役所内
TEL 544-5111

1.1

平成26年
(2014年)

迎春

特集

ずっと住みたいまちづくり 昭島

瑞雲中学生と自治連
第17.19.20ブロック地域
住民との合同防災訓練

人と人とのコミュニケーションを深め、ふれあいと思いやりのある街づくりのために、“あいさつの輪”を広げよう。

あいさつで つながる心と 笑顔の輪

(昭島市・昭島市青少年問題協議会 あいさつ運動推進標語)



年頭に当たって

昭島市自治会連合会
会長 小野 正敏

謹んで新春の御挨拶を申し上げます。昨年は自治会連合会の活動に対し皆様方のご理解とご協力を頂きお礼申し上げます。

最近、国内外で大きな地震や、地球温暖化のせいとも言われている大きな自然災害が発生し、多くのかけがえのない人命が失われています。

私たちが生活している東京に於いても、近い将来その発生が予測されている、首都直下型地震、立川断層地震や南海トラフ地震、又多発と大型化が心配されている集中豪雨や大型台風による自然災害に対し「自分の命は自分で守る」を重点に自治会連合会を取り組んで参ります。

特に本年は「自分と家族の命は自分達で守る」を合言葉に、家族全員で災害発生に備えていただきたいと思っております。具体的には、家庭での「我が家の防災会議」の開催をお願いします。

発災時の凍り付現象を防ぎ、災害の予兆を感じし直ちに行動に移れるよう「地域で行われる防災訓練に家族で参加する事」を始めとして、次の事項を家族全員で確認し共有化することが大切です。

まず①災害時の家族の役割分担を決め、②発災時閉じ込められないための安全な場所の確認、③避難場所及び避難経路の確認、④家具類の転倒落下・移動防止の確認、⑤ガラスの飛散防止措置の確認、⑥非常持ち出し品と最低3日分の生活用品の準備確認、⑦初期消火のための消火器、懐中電灯、運動靴の準備確認、⑧家族の安全確認と連絡方法の確認を年に一度は家族みんなで話し合ってください。

自分と家族の命が守れなければ、他人を助けることは出来ませんし、発災時に助ける事の出来るのは、近くにいる人しかありません。そのためにも平時は見守り、災害時は安否確認の「防災隣組」を構築し、日常生活の中で近所の結びつきを強めながら、防災隣組活動を地域に拡大して行きますよ。

本年は地域ごとに行政、学校と地域による「避難所運営委員会」を立ち上げます。自治会連合会としても、防災リーダーの育成と、防災隣組カードマップを利用し地域防災力の向上と、自治会員増強の推進に取り組んで参ります。

本年も皆様方のご理解とご協力を頂き活動してまいりますので宜しくお願い致します。



平成25年度地域懇談会を、平成25年11月13日18時30分より昭島市役所市民ホールにて開催し、82名(自治会59名・昭島市23名)が出席しました。懇談会の概要を報告いたします。

小野会長 単一自治会からの意見要望を12問にまとめました。本日は4つの常設委員会から問題提起をさせていただきます。是非、忌憚のない意見交換をよろしくお願いいたします。今後とも**地域防災力の向上、避難所別の運営委員会設置等、安全安心なまちづくりのため、市と協働して推進**してまいります。

北川市長 今年は異常気象の中で、伊豆大島をはじめ大きな災害が各地で発生しました。10月のスポーツ祭東京2013で昭島市では軟式野球が市民球場で開催され、地域ではブロック運動会が大勢の方の参加により盛大に開催されるなど、日頃からの自治会活動のご苦勞に対し心より感謝申し上げます。

市としてもできる限り自治会と市が連携した、より住みよいまちづくりについて意見交換をさせていただいて、皆さんとともに元気都市あきしまのまちづくりを進めてまいります。

<出席者紹介(行政側)>北川市長／佐藤副市長／新藤副市長／木戸教育長／早川企画部長／小林総務部長／花松都市整備部長／山下都市計画部長／福島都市計画部参事／荒井議会事務局長／伊東生涯学習部長／臼井水道部長／北澤会計管理者／橋本子ども家庭部長／丹羽学校教育部長／水野市民部長／池谷秘書広報課長／奥出工務課長／小松防災課長／山田地域防災担当主幹／大貫生活福祉課長／河野生活コミュニティ課長

議題1／次年度の「自治会地域懇談会」について

●ここ3年間、自治連で年1回の地域懇談会を開催し、単一自治会の質問や提案も全て書面回答の流れが出来ました。自治会からは直接意見交換をとの要望もあります。●そこで来年度は昭島市全体の「自治連行政協議会」と市内を5～6のエリアに分けての「自治会行政地域懇談会」の2つの形態での開催を要望します。(総務委員会)

【市民部】 この自治会地域懇談会は有意義な意見交換の場であり、市としても重要な会議であると認識しております。次年度の2つの形態による開催に関して、前向きに検討し、参加者や日程を調整してまいります。

議題2／避難所運営委員会設置の流れについて

●前年提案の『避難所運営委員会』を、昭島市地域防災計画に明記いただき、防災課とも何度も意見交換をしています。また公立中学校、小学校校長会とも避難所について、2度の話し合いの場を持ちました。●地域防災の備えの為に、早期に中学校、小学校に運営委員会の設置までの流れをつけたいと考えております。(総務委員会)

【総務部】 各校設置までの共通の手順を明確にするための準備委員会を、市・学校・自主防災組織(自治会)の代表により開催します。その上で各自治会及び各学校長の皆様へ、避難所運営委員会設置のための説明会を開催します。

その前提としましては、各地域での避難先確定が必要です。市のほうから提案をさせていただきますのでご協力いただきたい。

●地域防災への取り組みと自治会加入の促進を目指し「防災隣組・絆カードA-net」作成しました。近所での助け合いの構築に尽力してまいります。
●災害発生時の自治会としての役割の中で高齢者対応等も含め、出来ることとできないことを検証して市に提案してまいります。(総務委員会)

【総務部】 東日本大震災あるいは阪神・淡路大震災でも発災直後は自助と共助が大変重要でした。近所での助け合う“防災隣組”のネットワークの構築についても、市としても協力していきたい。

議題3／防犯カメラの設置について

●防犯カメラをJR駅前中心に設置されていますが、今後とも計画的な設置を提案いたします
●その際、設置周辺自治会に対して事前の説明のお願いと、安全安心のため、防犯カメラを児童公園等への設置を提案したい。(総務委員会)

【市民部】 街頭防犯カメラは、犯罪の抑止及び犯罪発生時の早期解決などを目的として駅前を中心に計画的に設置を始めております。これまでに昭島駅南口4基、北口4基、東中神駅南口に4基設置しました。平成26年度は中神駅南口・北口を予定しています。今後とも設置の際は、地域の自治会に対しご説明をさせていただきます。

議題4／会員増強の取り組みについて

●自治会加入率が減少の傾向にあり、地域力向上のために“戸建て住宅、都営住宅、マンション”の居住タイプ別に、会員増強などの取り組み等を話合う交流の場を持ち、活性化の第一歩としていきたい。●自治会の努力だけでは、手の届かないところもあります。会員増強対策会議を行政と定期的開催を提案したい。●また、増え続けるマンションの建設段階での情報提供と加入促進を共にお願いしたい。(事業委員会)

【市民部】 自治会活動の効果的な、効率的な推進のためには、会員増強の取り組みは重要な課題であると市としても認識しています。3つの居住タイプ別の検討会について、一緒に取り組んでまいりたいと思います。マンション対策では、どのような対応が可能か、他市の取り組み事例も参考にしながら、引き続き検討させていただきます。

議題5／自主防災組織の育成について

●4年間、東京都の助成金を活用し、防災リーダーの育成と地域防災力の向上に努力してきました。
●地域として災害の備えのため、数年かけての自主防災組織の活性化と防災リーダーの育成に計画を立て取り組みたい。
●予算の検討を提案したい。(防災委員会)

【総務部】 自主防災組織と防災リーダーの育成は、地域コミュニティでの安全・安心なまちづくりに大変重要であり、市としても防災研修会などを行ってきました。今後におきましても、自主防災組織の活性化等、防災リーダーの育成につきましては、ただいまの自治連からのご意見を十分参考にしながら、多角的に検討していきたい。自主防災組織は、地域の世帯全員が対象となります。

議題6／非常時の緊急給水体制について

●落雷により400世帯の断水が発生しました。水道局に給水車の要請をしたが、事例がないということで断られました。緊急時の給水車等の対応の基準を示していただきたい。(防災委員会)

【水道部】 落雷等による断水について、現状では給水車を出すということはありませんでした。今後、検討させていただきます。

議題7／AEDの設置について

●自治連も防災指導部会と協力して、普通・上級救命講習会を実施していますが、今年は倍以上の会員の参加をいただき、心肺蘇生やAED使用法の訓練に取り組みました。人命救助の意味からも自治会館にも設置したいが費用面等の課題があります。有効な対応策がないでしょうか。
●行政や民間のAEDの設置箇所や使用可能な時間を、地域に知らせる手段をお聞きしたい。(防災委員会)

【生活福祉課】 市の公共施設に57台と民間事業者等が設置する97台が市内に設置されています。機器等が25～30万円、耐用年数7年と短いため、自治会館への設置の補助は予算的に難しい。設置場所の周知方法につきましては、他市の状況等を参考に調査研究して、よりよい方法で周知できるように努めてまいりたいと思います。



議題8／避難所看板設置と設置個所の検討

●市民会館等、大型避難所や地域の小中学校への避難所告知・誘導の掲示看板が少ない。●特に駅周辺に避難所を示す地図的な掲示看板もないため、イザの時に帰宅困難者が迷います。適切な個所に増設を提案します。(防災委員会)

特集：ずっと住みたいまちづくり 昭島

【総務部】 新たに避難場所となった公園等に看板を設置し、また既存の看板もJIS規格、ピクトグラムにのっとった表示に改修するなどの作業を行い、避難所をよりわかりやすくするように努めています。今後は、帰宅困難者への解り易い情報提供についても検討してまいりたい。

議題9／自治会掲示板の補修について

●昨年この会で新規掲示板の提案をいただき、25年度17基が設置でき、26年度も申請が進んでいます。●既存掲示板の修理要望が多くあり市にも修繕にご協力をいただきたい。(広報委員会)

【市民部・生活コミュニティ課】 自治会掲示板の新設は、3カ年計画で順次、各自治会に設置を進めております。自治会の掲示板は、自治会のお知らせのほかに市役所、また警察署、消防署と行政関連からの掲示物を掲示していただき、昭島市にとっても効果的であります。平成14年から3年間、計104基を譲与したが、設置から10年以上経過し老朽化が進んでいるので安全面からも修繕が必要です。対応方法と予算について検討しています。

議題10／「広報あきしま」への自治連関連記事の掲載について

●自治連の広報は会員減少の為、全会員に配布しても、市全体世帯の40%までです。未加入世帯、特に若い世帯への自治会活動のPR手段として広報あきしまに、ぜひ定期的に掲載スペースをお願いしたい。(広報委員会)

【企画部】 広報あきしまは、原則月2回、年間で22回、全戸配布で発行しています。自治会の広く市民を対象とする事業につきまして、それぞれのところで担当課と調整をしながら、今後の掲載について前向きに検討してまいりたい。

議題11／防災行政無線の有効活用と携帯

メール情報サービスの内容の改善について

●火災等の情報や行方不明者の案内に無線放送が活用されている。産業まつりや青少年フェスティバルなどの市民行事周知にも活用したらどうでしょうか。●他市の事例も研究し、携帯へのメールでの情報サービスの内容をもう少し魅力ある内容に検討いただきたい。(広報委員会)

【企画部】 あらゆる年代の皆様から信頼される

情報システムの実現を目指して提供しています。防災行政無線で他の活用もしていますが、基本は“防災無線”です。それぞれの役割、それから運用方法で更に何が出来るか、市においても検討してみたいと思います。それぞれの媒体の特性を生かした市民の皆様への情報発信ということで、ぜひご理解をお願いしたい。

11の議題について終了後、参加の自治会長からも提案や要望を、幾つか頂き意見交換が出来ました。最後に、小野自治会長と北川市長にまとめていただきました。

小野会長 今日はいろいろお話を深くしていただきました。

自治会加入増強のため、行政との情報提供を含めて今後とも行政との連携を密にお願いしたい。 また、地域で行政の力を借りたい場合は、前向きに対応をお願いしたい。



短期的にどうこうということではなくて、やはり3年から5年というスパンで見ながら、いろいろな対応をしていただけたらありがたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

北川市長 本日頂戴した各種の提案を、市民の目線、立場に立った中で、いかに実行し実践していくかが大事だと思っています。また、自治会の役員



の皆様との意見交換のなかで“まちづくり”を協働していくことが大事です。

防災の基本は1に自助、2に共助、3に公助です。地域と行政と十分話し合いながら、お互いの役割を果たし、いざ発災のとき、被害が一件でも少なくなるように、被災者が少なくなるよう“防災に強いまちづくり”を進めていきたい。

今後とも、まずは**健康、健全、元気な街**を目指して皆様方と協力、連携を深めながら、よりよい『元気都市あきしま』を目指してまいりたい。

山村武彦氏の講演会を実施

平成25年7月11日(木)午前中、昭島市役所にて自治会長研修会を開催し、テレビでおなじみの防災・危機管理アドバイザーの山村武彦氏(防災システム研究所所長)の講演会を実施しました。講演の主な内容を報告いたします。



1、災害列島・日本に住む作法

- (1) 被害者にならず、加害者にならず、傍観者にならず
- (2) 個人、地域、学校、事業所、行政、それぞれの役割(責任)分担
- (3) 近助の精神「遠水は近火を救わず」

2、防災心理を知り、自分や家族を守れなければ、人は守れない

- (1) 人は都合の悪い情報はカットする「見ぬもの清し」
- (2) 「以前はこうだった」「専門家がこう言っている」に、とらわれない
- (3) 危ないと思ったら、周りが逃げなくても、逃げる
- (4) 「もしかして」「念のため」を考えて、すぐに行動を起こす
- (5) パニックは怖くない、怖いのはパニックを恐れる人たちが引き起こす情報隠しである

3、目からウロコの防災新常識

- (1) 震度6強の揺れ!その時、どうなる、どうする!
- (2) 耐震建物でも天井、照明器具、ドアなど設備が壊れることが多い
- (3) 小さな揺れ、緊急地震速報で、直ちに防災訓練開始!
- (4) 転倒落下物の少ない、閉じ込められない安全ゾーン
- (5) 古い木造家屋に居た時、町中に居た時、どうする!
- (6) 室内の転倒落下防止対策はいつやる!「今でしょう!」
- (7) スマホ、ケータイ電話が吹っ飛ば
- (8) 火が出たら・・・その時の優先行動?
- (9) 賢い非常用備蓄「ローリングストック法」



4、「近助の精神」と「防災隣組」でつくる“ずっと住みたいまちづくり”

- (1) 地域防災は、フレームワークからフットワーク重視
- (2) 自助と近助が基本、そして共助
- (3) 発災時、災害時要援護者を助けられるのは近くの人
- (4) 地域防災(自守防災)の先進的取組事例
- (5) 近助の精神と東京防災隣組……自治連の進める“防災隣組の構築”に大変参考となりました。



防災活動発表大会を開催

●平成25年12月7日(土)、自治会長が集い「防災活動発表大会」を開催。第11ブロック(立野ブロック長)、第15ブロック(藤原ブロック長)、第17・19・20ブロック(柳井自治会長)の3団体に発表していただきました。

●次に、防災都市計画研究所 吉川忠寛所長、小松昭島市総務部防災課長、小野自治連会長にパネリストになっ

ていただき、『防災隣組でつくるずっと住みたいまちづくり昭島』をテーマに話し合っていました。●二部の交流会では、北川昭島市長に挨拶を頂き、その後、自治会長同士、話の輪が広がりました。小野会長から、100自治会目の新設自治会「AYUMO CITY昭島自治会」の紹介と、自治連ホームページ内の自治会ブログ投稿回数の表彰があり、1位)福島第三自治会、2位)上町自治会、3位)西武拝島ハイツ自治会、4位)むさしの自治会、5位)上向自治会でした。



自治会用掲示板の新設が始まりました！

百聞は一見に如かず、種々な情報伝達手段が溢れている昨今です。掲示板は古いけれど確実で大切な手段です。自治連はこの大切な掲示板の新設、更新、修理を積極的に推進しております。平成25年度は17基を新設しました。平成26年度は23基を予定しています。

自治会からの新設要望を数年かけ実施していきます。また、既存の修理が必要な掲示板も平成26年度から市にも協力いただき、安全で美観のいいものにしていきます。

スタンドパイプの配備がはじまり、操作講習会を実施

スタンドパイプの操作講習会が昨年10月12日(土)、美堀町の昭島市環境コミュニケーションセンターで実施されました。初めに、2階会議室で操作方法の講義、その後屋外にて放水訓練を実施しました。スタンドパイプは、昭島市から本年度より毎年20の自主防災組織(自治会)に貸与となり、5年間で全自主防災組織(自治会)に配備される予定です。



スタンドパイプとは、いざという時、住民が活用できる消火資器材のひとつです。スタンドパイプは、道路上にある消火栓に差し込み、ホースをつなぎ消火を行います。

軽量で操作も簡単、消防車が進入できない狭い道路の地域や木造住宅密集地域でも近くの消火栓を使って消火活動ができます。



地域の防災訓練などで、ぜひ実際に手に取ってみましょう～

「昭島市地域防災計画(修正案)」作りに協力しました！

昭島市の地域防災計画の修正素案の説明会が、昨年7月～8月昭島市内各所で実施され、各会場に近隣の自治会役員も出席し昭島市総務部防災課の皆様と意見交換しました。また、地域防災計画の中に“自治会連合会、自治会、自主防災組織、住民”関連の箇所が随所であり、昨年8月数回、自治会連合会の役員で防災課との会議を持ち、内容の確認と見直し作業を行ないました。

また、昭島市防災会議にも自治会連合会役員2名が市民を代表して出席し、自治会や自治会連合会の取り組みの紹介や、市民目線での発言もさせていただき、修正案作りに協力しました。

昨年11月に修正案の最終確認の昭島市防災会議が開催され、昭島市地域防災計画が確定しました。その中に今後、行政と小中学校と自治会で取組みます“避難所運営委員会の設置”が定められました。

昭島市地域防災計画は冊子となり各自治会にも配布されます。



特集：ずっと住みたいまちづくり 昭島

第60回昭島市市民体育大会「自治会ブロック別大会」が10月に各所で開催！雨天の為、体育館での開催となったブロックも多くありましたが、地域の皆様で輪になり、元気いっぱい、いい汗を流しました。



1B



18B



19.20B



10B



15B



17B

元気都市あきしま！

市内各所で祭りが元気に行われ、地域の絆が一層深まりました。



昭文自治会



上向自治会



むさしの自治会

ワッショイ
ワッショイ!!



互助会

1月26日(日) 9時半から～市役所のバザーにお越しください



- 循環社会を目指し恒例の家庭用品バザーを、昭島のあすを創る協議会主催で、自治会連合会も協力し1月26日(日)9時半から実施します。
 - 家庭用の寄贈品を自治会別に1月中旬に集めております。詳細は自治会にお問い合わせください。皆様の真心をお待ちしております。
- (※対象外品目／古着、大型家具、電気製品、ストーブ、刃物、花火等)

■自治連役員研修会で、福島県飯舘村(菅野村長)を訪問

平成25年度自治会連合会役員研修会で、11月17日(日)18日(月)に、福島県と宮城県を訪問してきました。1日目は小名浜港と塩谷崎周辺の津波被害の様態を視察し、塩谷崎では津波当日の被害状況の話を体験者から聞くことができました。

2日目は、飯舘村の除染作業の実態を車窓から見学しその後、飯野出張所(福島市飯野町)に向い、北川昭島市長からの親書を小野会長から、菅野村長にお渡しいたしました。



“原発事故から学ぶ／政治の役割／本当の田舎暮らし／人生アクセルを緩めよう／までいライフ／次世代への贈り物”等、菅野村長の貴重な体験を踏まえたお話を約1時間、聞くことができました。



その後、バスで南相馬市と宮城県の山元町の海岸線を視察しました。海岸から数キロに及ぶ津波被害の現状に声も出ない有様でした。

**頑張ろう 福島！
応援しよう 福島！**

と強く心に思い、昭島に戻って来ました。

■防災隣組カード A-net 準備中

自治会員増強と防災隣組構築のための、防災隣組カードA-net(右図)を作成しています。裏面に“自治会名(地域)”と避難所場所を明記できる欄と、氏名が記入できます。

2月以降随時、自治会の皆様と未加入の地域の皆様にもお届けします。“防災の備え”を共々にしていきましょう。



自治連のホームページで情報発信中！ (2年10カ月で280回の投稿)



昭島市自治連

検索

<http://www.akishima-jichiren.jp/>

自治連のことや、安全安心のために知って得する情報を随時、発信しています。

皆様の自治会のブログも個別にあります。

いつ見ればいいのか？→今でっしょ！